

社会レジリエンス領域

複合的リスクに直面する現代社会において社会全体の持続性とレジリエンス性を高める

本領域は、自然災害の激甚化、持続可能と安定供給の両立が求められるエネルギー課題、サイバー脅威の高度化など、複雑かつ相互に関連するリスクに直面する現代社会において、社会全体の持続性とレジリエンスの向上を目的としています。都市機能、エネルギー供給、情報基盤といった社会インフラは密接に結び付いており、いずれか一つの脆弱化が社会全体に深刻な影響を及ぼす可能性があります。本領域では、「都市防災・災害レジリエンス」「エネルギーレジリエンス」「サイバーレジリエンス」の三部門を有機的に連携させ、分野横断的な研究と実践を推進します。これにより、個別分野に閉じた対応を超えた統合的な課題解決を図るとともに、危機発生時の対応力強化や平時からの備えの高度化を目指します。さらに、学術研究の成果を社会実装や政策提言へとつなげ、国内外の関係機関との連携を通じて知の集積と人材育成を進めることで、社会レジリエンス研究を先導する世界的中核拠点の形成に貢献します。

領域の概要とミッション

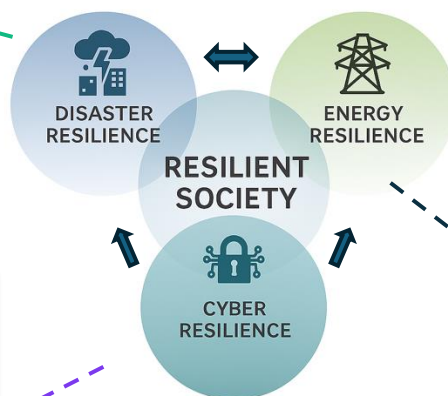
都市防災・災害レジリエンス

都市防災・減災対策および国土インフラのレジリエンス強化を基盤として、自然災害による被害の抑制と早期回復を可能とする都市・地域構造の構築を行います。

サイバーレジリエンス

「都市防災・災害レジリエンス」部門および「エネルギーレジリエンス」部門を横断的に連携させ、社会インフラの中核を成す情報基盤のレジリエンス強化と高度化を通じて、安全かつ信頼性の高い社会システムの基盤形成に寄与します。

Enhancing social resilience against complex risks



エネルギーレジリエンス

持続可能性と安定供給の両立を目標に、平時から非常時まで機能を維持・回復可能なエネルギーインフラのレジリエンスモデルの創出に取り組めます。

ミッション

- 都市防災・国土インフラ、持続可能エネルギー、情報レジリエンス基盤を融合した統合的社会レジリエンスモデルを構築し、社会実装へその有効性を示す。
- 分野横断的研究の推進と若手研究者・高度専門人材の育成を通じて、社会レジリエンス研究を牽引する国際的研究拠点を形成する。
- 研究成果を政策提言、技術ガイドライン等へ展開し、世界規模でのレジリエント社会構築に貢献する中核的役割を担う。

メンバー教員

エネルギーレジリエンス

岡島敬一
田原聖隆
上野剛
裨貫峻一
秋元祐太郎

サイバーレジリエンス

面和成
西出隆志
千川尚人
島岡政基
高橋大成

都市防災・災害レジリエンス

梅本通孝
臼田裕一郎
酒井直樹
藤原広行
木下陽平

最近の研究テーマから



COI-NEXT



5D-MaaS



レジリエンス研究教育推進
コンソーシアム

共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）
「フェーズフリーな超しなやか社会」を実現する5D-MaaS共創拠点